

# 避難の判断やタイミング

洪水が発生しそうなときは、市役所や消防機関などから避難の呼びかけを行います。しかし、避難するタイミングをつかんで**実際に行動するのは、あくまでもあなた自身です。**“あぶない”と感じたら、自分からすすんで避難することが大切です。

## ■ 雨の降り方の程度

※特に、1時間30mm以上、連続100mm以上の雨が降るときには、注意が必要です。

(発表される気象情報) → (1時間雨量) →	大雨洪水注意報 (30mm以上)	大雨洪水警報 (50mm以上)	記録的短時間大雨情報 (100mm以上)	
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に 10mm以上～ 20mm未満	1時間に 20mm以上～ 30mm未満	1時間に 30mm以上～ 50mm未満	1時間に 50mm以上～ 80mm未満	1時間に 80mm以上～
ザーザーと降ります。地面からはね返りで足元がぬれます。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要です。	どしゃ降りです。傘をさしていてもぬれます。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。	バケツをひっくり返したように降ります。道路が川のようになります。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。	滝のように降ります。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。土石流が起こりやすく、多くの災害が発生します。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

※「記録的短時間大雨情報」とは、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したときに気象台から発表されます。

## 市からの避難情報とは？

市では、避難の必要がある場合に、次のような3段階の避難情報を皆さんにお知らせします。

### 避難準備情報

- 避難するのに時間のかかる人は、避難所への避難を開始してください。
- 要援護者を支援する人は、支援行動を開始してください。
- 通常の避難行動のできる人は、避難の準備をはじめてください。

### 避難勧告

- 通常の避難行動のできる人は、避難を開始してください

### 避難指示

- 避難行動中の人は、速やかに避難を完了させてください。
- まだ避難していない人は、直ちに避難してください。